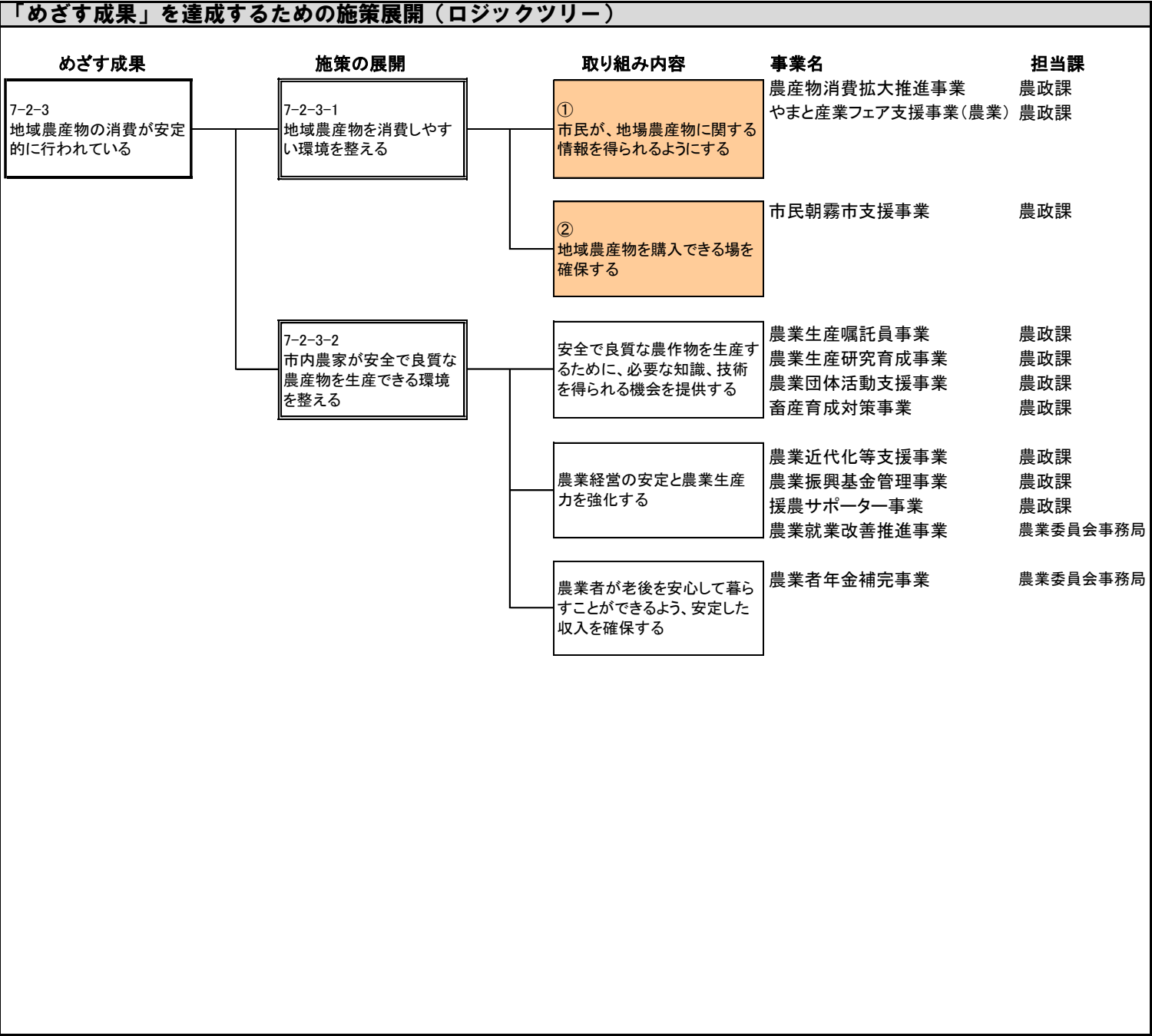


平成28年度「めざす成果」の達成に向けた進行管理シート		
7-2-3 地域農産物の消費が安定的に行われている		
総合計画体系	健康領域・基本目標	社会の健康・市民の活力があふれるまち
	個別目標	にぎわいのある地域をつくる
	めざす成果	地域農産物の消費が安定的に行われている
		市内の農業生産が維持され、消費者と直結した地産地消のしくみが整っています。



所 管 部	環境農政部	
平成２７年度までの 取り組み内容	【地場農産物の消費しやすい環境を整える】 ・農産物消費拡大推進事業について、市内小学生を対象とした米作文コンクールや収穫物活用体験料理教室などを通じ、安全安心な地場農産物への理解を深めてもらうことができました。 また、学校給食などでの地場農産物の消費を拡大するため、関係団体との連絡調整を強化しました。	
	【市内農家が安全で良質な農産物を生産できる環境を整える】 ・やまと産業フェアでは、農産物品評会や植木苗物品評会の開催とともに、地場産の大豆や、その大豆で作った豆腐を販売し、地産地消をアピールしました。 ・援農サポーターが農家の求めに応じて支援を行うことで、生産者と消費者が相互理解を深め、遊休農地化の未然防止、農業生産の維持に貢献しました。	
構成事業に対する考え方 (事業の量及び実施手法)	・農産物消費拡大事業については、直売所での販売をする農家の数を維持することに加え、市民への直売所情報の周知、学校給食への供給、連携を深めていく必要があります。 ・朝霧市等については、多くの市民に利用されていることから、引き続き現状の支援を継続していきます。 ・援農サポーターが高齢化していることから、サポーター体験等の実施により、若手サポーターを育てていく必要があります。	
今後の展開方針		
注) 例年どおりの事業展開を予定している事務事業については、特段の記載をしていません。		
新規事業の立案		(該当する事務事業)
既存事業の拡充		(該当する事務事業)
事業の廃止・縮減		(該当する事務事業)
事業の効率化		(該当する事務事業)
その他見直し	・朝霧市等の出店者数の増加、出店内容の充実を図る必要があります。 ・若い援農サポーターを育てていく必要があります。	(該当する事務事業) ・市民朝霧市支援事業 ・援農サポーター事業

成果を計る 主な指標	指標の名称	前期基本計画			後期基本計画			
		計画策定時 (H20)	最終目標値 (H25)	実績値 (H25)	実績値 (H26)	実績値 (H27)	中間目標値 (H28)	最終目標値 (H30)
	① 直売所などで販売する農家数	146軒	146軒	146軒	146軒	146軒	146軒	146軒
	② 朝霧市、夕やけ市、おさんぼマートの年間開催回数	197回	200回	197回	205回	207回	200回	200回